

サイドインパクト後、  
シンジ君はこれ以上  
苦しみを味わいたく  
ないと言いつて

どうやったかは  
分からないけど  
何も無い平原の真ん中に  
廃屋を建て

彼は私とセックスに明け暮れる  
日々を過ごすことを目的とした  
次元を創造すると決めた……  
らしい

あっ♡

ミサトさんっ！

シンジ君♡

そこっ  
イイ♡

最初は私も色んな  
感情が渦巻いていたけれど

おっ♡

今はこれでいいと  
思っている……

出すよ!!

ミサトさん!!

続きをしましよっつて  
言っちゃったしね……なんて♡



またイツちやった♡

最初は私がリードしてたのねー♡

最近はもうすつかりシンジ君にイカされっぱなしだわ♡

まだ出てくる♡

そんな……

ミサトさん……

僕はただ……ミサトさんと一緒に気持ちよくなりたいから……

！

あら、立派な事言うようになった♡



コッチの方にこんな才能があつたなんてねーもつと早く手を出すべきだったかしら？♡

そ.そんなっ

ジョーダンよw

あ……それとミサトさん次はー

ポニーテールかぁ好きなの？

好きというか……ミサトさんがやるから……

普段はキレイ

ってカンジでこっちはカワイイってなるから……

その歳でギャップにこだわるなんてやるっ♡

♡

ぽんぽん♡



もっと...  
もっとミサトさんと  
したい...

セックス...

いいわよ♥

好きなだけ  
私とセックス  
しましょう♥

これは本心  
彼は精一杯やった  
んだから...  
これからは私が  
...ね♥

それにしても  
若さねえ♥

今日も散々出したのに  
一番硬くなってるんじゃない?

あっ!  
ダメ!!

ミサトさん!  
また出る!!

いいわっ  
キテツ♥

んおっ♥